

# 平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：畜産安全課  
 担当名：畜産振興担当  
 内線：4193

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B19	繁殖雌牛ゲノミック評価推進事業			一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	畜産経営改善対策費		
事業期間	平成30年度～平成32年度	根拠法令	酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律第1条、第2条の3 家畜改良増殖法第1条、第2条		宣言項目	09	儲かる農業の推進			
					分野施策	040937	強みを生かした収益力ある農業の確立			
1 事業概要				5 事業説明						
県内肉用牛繁殖農家でのゲノミック評価の活用方法を確立し、生産される子牛の資質向上により、農家の収益力向上を図る。 (1) ゲノミック評価活用検討事業 152千円 (2) 繁殖雌牛ゲノム情報収集事業 4,650千円 (3) 秩父高原牧場繁殖雌牛資質向上対策事業 956千円				(1) 事業内容 県内肉用牛繁殖農家で繁殖雌牛の効率的な選抜改良を行い、和牛子牛の資質を向上させるため、ゲノミック評価の活用方法を確立し、収益力の強化を図る。 ア ゲノミック評価活用検討事業 152千円 ゲノミック評価の活用方法についての研修会や検討会の開催等 イ 繁殖雌牛ゲノム情報収集事業 4,650千円 県内で飼育される繁殖雌牛のゲノミック評価による遺伝子情報の収集 ウ 秩父高原牧場繁殖雌牛資質向上対策事業 956千円 秩父高原牧場で飼育する繁殖雌牛及び譲渡牛のゲノミック評価による資質向上効果の確認 (2) 事業計画 ア ゲノミック評価活用検討事業 平成30年度～ ゲノミック評価の活用方法についての研修会や検討会の開催、県外研修会への参加 イ 繁殖雌牛ゲノム情報収集事業 平成30年度～ 繁殖農家で飼育される繁殖雌牛(250頭)のゲノミック評価による遺伝子情報の収集 ウ 秩父高原牧場繁殖雌牛資質向上対策事業 平成30年度～ 秩父高原牧場で飼育する繁殖雌牛及び譲渡牛のゲノミック評価の実施と資質向上対策の実証 (3) 事業効果 ゲノミック評価の活用方法を確立し普及することで、県内で飼育される繁殖雌牛の改良が進み、和牛子牛の資質向上による繁殖農家の収益力向上が図られる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 繁殖農家で飼育される繁殖雌牛のゲノミック評価及び評価結果のとりまとめを民間団体へ委託して実施する。 (5) 補正予算の概要 歳入が国庫支出金対象外となったことによる財源更正(一般財源2,918千円→5,758千円)						
2 事業主体及び負担区分										
(1) (県10/10) (2) (県10/10) (3) (県10/10)										
3 地方財政措置の状況										
なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員										
9,500千円×1人=9,500千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	0	国庫支出金	△2,840					2,840	5,758	
現計額	5,758		2,840					2,918		